

県議会議員

あらい、絹世の磯っ子レポート

 県政を
もっと
身近に

<http://www.arakinuyo.jp>

ポータルサイト、高潮浸水区域図等をネット掲載 自然災害に関する県の情報提供への取り組み

今年9月から10月にかけて2つの大型台風と大雨を伴った台風が東日本を襲い、土砂崩れ、水害など大きな被害をもたらしました。神奈川県でも台風19号で死者が16人に上る(11月中旬現在)など、死者93人を数えた1953年9月の狩野川台風以来の災難を想起させられることにもなりました。神奈川県は海、山川、都市部、コンピナートなど多様な顔を持つ環境から、さまざまな災害に直面する場所柄でもあります。県では2019年度一般会計当初予算に地震、水害、土砂崩れなど自然災害対策費として802億5251万円を計上して対処しています。対策には道路・橋・港湾などの整備、津波・高潮・水害対策工事などのハード面と、市町村と連携して災害に関する情報を取りまとめたり、県民に情報を提供したりするソフト面があります。ソフト面では、市民などにとって便利で速報性のあるインターネットを活用した情報提供がさまざまに見受けられます。

【神奈川県災害情報ポータルサイト】県のインターネットを使った災害情報は、県のホームページの中で検索していきますが、災害情報ポータル(玄関→入り口)サイトでは緊急情報、火山、土砂災害、地震、津波、気象などの情報、避難勧告・避難所などのコーナーがあり、気象庁のホームページともリンクするなどして便利です。

【県の未病対策のサイトの中に災害時に役立つコーナーも】スマホのアプリにLINEがあり、この中に県の「ME-BYO onlineページ」(未病対策に関するページ)があります。この中のコーナーの一つに「災害時に役立つチェックイン」があり、あらかじめ登録した複数のLINEグループに自分の現在地を一斉に通知できるほか、チェックインした現在地の避難所や避難場所が地図上に表示される仕組みのものになっています。出かけている時に災害に遭い、どこに避難したらいいのか分からない時などに便利です。

【高潮浸水想定区域図】高潮は気圧の低下による海面の上昇と強風により海水が海岸に吹き寄せられることで発生しますが、県では今年春に東京湾に面した県の区域(川崎、横浜、横須賀、三浦)における高潮被害の想定案を作って「浸水想定区域」を指定し、インターネットで区域図などを見られるようにしました。この区域は約70万平方キロで、磯子区は沿岸の埋め立て地に建設された工場地帯と掘割川沿岸の0.6平方キロとなっています。最大の水位は川崎で5メートル、横浜駅周辺で3メートル、磯子区では2.67メートルとなっています。



コレが言いたい!

台風15号では住宅全壊・大規模半壊した世帯の生活再建や、中小企業・農業者の経営再建等の支援など36億円の補正予算が組まれました。また、死者16人、建物被害約3000棟、護岸破壊等河川の被害150箇所などの多くの被害を出した台風19号の対応としては、生活の再建支援等に約5億円、中小企業等の支援に約43億円、道路・河川等の復旧に約124億円の補正予算が組まれました。被害に対して早急に対応していますが、災害が発生する前に早めの「命を守る行動」をお願いします。

今月のひと言

平成18年6月23日に公布・施行された「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」により毎年12月10日から同月16日までが「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」と定められています。「北朝鮮に拉致された日本人を救う神奈川県議会有志の会」では毎年12月に拉致問題を風化させず県民世論が高まるよう署名活動を行っています。

磯子あれ? これ?

大岡川下流域(清水橋～河回)

大岡川下流域は、江戸時代からの新田の埋め立て地です。横浜が開港されると、大岡川沿岸(南太田～日ノ出町)辺りに水運を利用した工場、倉庫、材木店などが増えました。

大岡川や中村川、堀割川にはいかだやはしけが行き交い食品や生活物資、材木が運ばれ「なりわいの川」と呼ばれていました。こうした水運は昭和30年代まで盛んにおこなわれていました。また、横浜商業高校(Y校)漕艇部の練習場としても利用されてきました。

近年、河口にある船着き場から大岡川を屋形船で遊んで船から桜を観賞するイベントや水辺のレジャーとして登場したスタンドアップパドル(SAP)、シーカヤックを楽しむ人達が増えました。

河口近くにある弁天橋(明治2年完成)は、当時横浜村の守り神だった「洲干弁天(しゅうかんべんてん)」が近くに祀られていたことから名付けられました。弁天は川を神格化したものと言われています。洲干弁天は現在、中区羽衣町の厳島神社として奉納されています。参考資料:かながわの川(上巻)



活動報告

11月21日、グランドデザイン調査特別委員会で「公立大学法人神奈川県立保健福祉大学大学院イノベーション研究科(SHI)」の調査を実施しました。SHIは横須賀市に有る保健福祉大学の新しい学科で、県の施策である「未病」という新しい健康観を実現するために、再生医療の国際戦略拠点である川崎市殿町に今年4月に開設されました。少子高齢化に伴い大きく変わる社会構造の変化に対応するため開設されましたが、今後如何に県民生活に還元されるかが課題です。



「神奈川県選出の梅沢議員と共に追悼式に参列」

11月26日、厚生常任委員会委員長として南方諸地域戦没者追悼式に参列しました。神奈川県では沖縄をはじめとする南方諸地域で戦禍に倒れた神奈川県関係者4万余人の方々を追悼すると共に、平和への誓いを新たなものとするため、終戦20周年にあたる昭和40年11月26日に沖縄県糸満市摩文仁の丘に「神奈川の塔」を建立し、毎年この日に「神奈川の塔」において追悼式を行っています。

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井㈱/㈱メタルフン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成31年4月 県議会議員3期目当選
- 厚生常任委員会委員長
- 議会改革検討会議委員
- グランドデザイン調査特別委員会委員
- かながわ自民党女性議員局長